

第 20 期事業報告書

(2021 年 7 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

【継続 1：事業概要】

事業名 農業に関する情報提供、表彰事業

1. 農業に関する情報提供

北海道農業の安定的発展に寄与するため、農業法人や生産者等を対象に、農業に係る政策、制度、金融、地域連携及び環境対応等の情報について、財団が持つ産学官ネットワークの機能を活用しながら調査収集し、ホームページなどにより情報提供を行った。

(1) 地域農業情報収集

地域農業の企業的経営を図るうえで、必要な制度や地域情報の収集・調査を行った。

(2) 映画「大地の侍」上映セミナーの開催

道内各地で「北海道開拓にまつわる話」と映画「大地の侍」を組み合わせたセミナー上映会を開催。農業や農村に対する理解を広げるための取り組みを行った。

ア) 上映セミナー実施状況

- | | |
|-------------|------------|
| ①開催場所 | 札幌市ほか 7 市町 |
| ②上映セミナー開催回数 | 28 回 |
| ③参加者総数 | 1,087 人 |

イ) 道内各市町村、協力団体向け DVD の購入

- | | | | |
|-----------|-------|-----|-----|
| ①市町村用購入枚数 | 179 枚 | 配布数 | 0 枚 |
| ②特別協力団体等用 | 20 枚 | 配布数 | 0 枚 |

ウ) WEB サイトに「大地の侍」専用ページ設置。(2022 年 2 月 1 日)

(3) 農業生産に関する認証関連基盤整備

GLOBAL.G.A.P (農業生産工程管理) 及び特別栽培農産物の認証関連基盤整備

2011 年から取り組みを始めた、農産物 (食品) の安全、労働安全、環境保全を柱とする国際規格である GLOBAL.G.A.P 認証取得 (グループ認証) を推進するとともに農業生産工程管理法を浸透、継続させるため、各生産者に内部検査を行った。

また、農産物に対する信頼性をさらに高めるため、特別栽培農産物の第三者機関による認証審査を行った。

① GLOBAL.G.A.P 認証維持

ア) 内部検査の実施 (内部検査員による管理点検と不適合箇所に対する是正依頼)

実施時期：2021 年 7 月～8 月、2022 年 3 月

対象者：生産者 94 名、HAL GREEN 農産センター (選果場)、共同選果場 4 か所、
選果・加工委託業者 3 社

イ) 第三者機関による認証審査

i) 更新審査

審査時期：2021 年 9 月 16 日、11 月 15 日～19 日

対象者：生産者 61 名 (抽出審査対象：青果 8 名、穀類 4 名)、GAP 事務局、

HAL GREEN 農産センター（選果場）、選果・加工委託業者 1 社
認証機関：テュフズードジャパン(株)
更新認定：2022 年 1 月 5 日

生産者 61 名 青果 53 名；玉葱 37 名、馬鈴薯 10 名、南瓜 7 名、人参
2 名、すいか 1 名、メロン 1 名
穀類 12 名；小麦 8 名、そば 4 名
青果・穀類重複生産者 4 名、品目重複者 9 名あり

HAL GREEN 農産センター（選果場）、選果・加工委託業者 3 社

ウ) 説明会及び勉強会の実施

i) オホーツク地区における GAP 勉強会の実施

実施時期 2022 年 2 月

対象者 生産者 4 名

ii) 普通応急手当講習会の実施

実施時期 2022 年 1 月 29 日

会場 かでる 2.7 研修室

参加者 生産者 7 名

② 特別栽培農産物の第三者認証取得

審査時期：2021 年 8 月 12 日

対象者：生産者 52 名

認証機関：公益財団法人北農会

認定日：2021 年 12 月 15 日

生産者 45 名（玉葱 32 名、馬鈴薯 14 名）

(4) 定期発行機関紙「HAL だより」を WEB 上で公開

WEB サイト（ホームページ）を 19 期（2021 年 4 月）にリニューアルし、情報提供を文字、動画を活用し実施している。

(5) 財団ホームページによる情報提供

調査、収集した情報を生産者に周知し、活用を促すため、財団ホームページを運営し、各種情報の掲載を実施した。また、新たに動画サイトでの情報提供も実施した。

ア) 2022 年 3 月 4 日 WEB 版 HAL だより「夢の扉を開けませんか？第 1 話」公開

収録時間 20 分 40 秒（構成：1 花茶の魅力 7 分 13 秒。2 農家・小栗美恵さん 6 分 57 秒
3 夢を持つ大切さ 3 分 35 秒。4 法律のポイント 2 分 55 秒）

文字起こし量 約 4000 字

（旧 HAL だよりページ換算 写真換算含め約 5 ページ（15 字×30 行 4 段））

メラビアン法による換算 1 分 180 万文字 20 分 40 秒=3600 万文字以上

参考：第 19 期事業 2021 年 6 月 23 日公開「大地の侍 セミナー・上映会のご案内」

イ) 財団の事業内容、体制、決算情報等

2. 「第 17 回 HAL 農業賞」表彰

農業における優れたビジネスモデルの周知、普及のため、地域農業の発展を目指して独創的な農業経営に挑戦し、生産技術の向上や加工、流通開発などに取り組む農業法人や生産者を表彰した。

(1) 選考

①財団内部選考会

開催日：2022年3月3日（木）11：00～

場 所：HAL 財団

内部選考会メンバー

一般財団法人北海道農業企業化研究所	理事長	磯田 憲一
一般財団法人北海道農業企業化研究所	専務理事	沓澤 隆
一般財団法人北海道農業企業化研究所	公益事業部長	上野 貴之

②選考委員会

開催日：2022年3月8日（火）13：30～

場 所：HAL 財団

選考委員会委員

委員長：一般財団法人北海道農業企業化研究所	理事長	磯田 憲一
委 員：前北海道農業公社理事長（元北海道農政部長）		竹林 孝氏
学校法人酪農学園常務理事		石島 力氏
（一般財団法人北海道農業企業化研究所評議員）		
一般財団法人北海道農業企業化研究所	専務理事	沓澤 隆
一般財団法人北海道農業企業化研究所	公益事業部長	上野 貴之

(2) 各賞受賞者

北海道農業特別貢献賞	株式会社 町村農場（江別市）	賞金 200 万円
都市近郊農業賞	Ambitious Farm 株式会社（江別市）	賞金 50 万円

なお、表彰式は 2022 年 5 月 20 日（金）に JR タワーホテル日航札幌にて開催予定

【継続 2：事業概要】

事業名 農業経営サポート

1. 農業経営企業化サポート事業

農業賞現地調査時に、多角化や六次化などの相談を受けことがある。今までは、対応しきれていなかった部分をサポートし、企業化等に関する知見やノウハウ等の蓄積と実績を積み上げ、WEB サイト等で事例紹介をすることで、農業者が抱える諸問題の解消を目的とし実施する。21 期以降、本格的展開するための「反応調べ」を行った。

2. 地域農業活性化事業

地域農業の活性化を支援するため公益財団法人はまなす財団と公募事業を共同で実施するなど、農産物の価値や農業の持続性を高めるための取り組みを進めた。

(1) 地域づくり活動発掘・支援事業（地域農業連携枠）

事業実施団体

- ・株式会社けんぶち VIVA マルシェ（剣淵町）
- ・NPO 法人まおい学びのさと（長沼町）

3. 農業法人求人サポート

事業廃止日：令和3年（2021年）8月31日付にて職業紹介事業廃止届を提出

廃止理由：紹介事業を行わなくなったため

受理日：令和3年9月3日北海道労働局受理

令和3年度実績（4月1日から8月31日までの実績）

ア) 有効求人数：実績なし

イ) 常用求人数：0人（厚生労働省の事業年度令和2年度末日の常用求人総数）

本業務に必要な法定講習を受講している職員：1名（職業紹介責任者講習2018年7月5日受講済み）

4. 北海道農業法人協会運営支援・共同事業

一般社団法人北海道農業法人協会が実施するセミナーなどの研修事業を共同で開催し、北海道農業の企業化への取り組みを進めた。

(1) のぶし経営塾

開催日：2021年11月18日～19日

場 所：札幌市

テーマ：財務経理集中講座

参加者：18名

(2) リベンジ第3回次世代農業サミット

開催日：2021年12月1日（水）

場 所：札幌市

テーマ：これからの北海道農業スタイル

参加者：110名

(3) のぶし経営塾

開催日：2022年2月7日

場 所：札幌市

テーマ：女性リーダーの話を聞く会（株式会社 いただきますカンパニー）

参加者：30名

以上